



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)10月25日号 No.1741

目次

■ 2017年1～9月のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2017年11月号のご紹介	5
■ エトセトラ	6
月例報告会「トラックの生産・販売・貿易をめぐって」/6	
ロシアビジネスセミナーin大阪—多様な視点からのロシアの現在—/6	
■ トピックス	6
電通が露メディアエージェンシーに出資/6	

2017年1～9月のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より2017年1～9月のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介していく。なお、2017年1～9月のロシアの貿易統計に関しては、ロシア連邦関税局のデータに基づき、後日より詳しくお伝えする予定である。

データ解説

統計局発表の速報推計値によると、2017年1～9月のロシアの鉱工業生産は前年同期比で1.8%の増加であった。鉱業はプラス2.8%、製造業はプラス1.0%で、なかでも自動車、医薬品が特に大きく増えている。鉱工業の品目別の生産をみると、生産量では鉄道貨車、乗用車、トラック、バス、天然ガス、化学品などで成長がみられ、ガスタービン、鉄鉱石精鉱、コークスなどが減少した。1～9月の原油処理量は2億1,200万tで、前年同期比のプラス0.4%であった。ボイラー重油の生産量はマイナス7.5%、軽油はプラス2.1%、ガソリンはマイナス2.1%となった。

統計局はまだ第3四半期までのGDP成長率を発表していないため、図表1では上半期の数値を掲載しているが、ロシア経済発展省の発表によれば1～8月のGDP成長率は前年同期比プラス1.7%であった。また10月20日、オレシキン経済発展大臣がプーチン大統領に、9月のGDP成長率はプラス2.4%、第3四半期はプラス2.2%の成長だと報告している。世界銀行によるロシアの2017年のGDP成長率予測はプラス1.7%だが、経済発展省は8月末にプラス2.1%の予測を発表している。2017年も残り3カ月、2%を超える成長が達成されるかどうか、要注目である。